

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	川崎市北部地域療育センター		
○保護者評価実施期間	2025年 2月18日		～ 2026年3月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	2025年 2月25日		～ 2026年 3月19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○訪問先施設評価実施期間	2026年 2月18日		
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種が連携した専門性の高い訪問支援体制	多職種による会議を実施している。多角的なアセスメントを基に、個々の発達の状況、課題を的確に捉え、多職種による訪問支援の実施をしている。	今後も、多職種が関係する体制のもと、多角的なアセスメントの実施を継続していく。 その上で、こども一人ひとりのニーズに応じた支援を基本とし、発達の状況や課題に応じて、保育士・指導員および専門職など、適切な訪問支援員による支援を柔軟に提供できる体制の充実を図っていく。
2	保護者・訪問先施設との丁寧な情報共有と信頼関係	訪問後には、保護者や訪問先施設へ支援内容やこどもの様子について丁寧なフィードバックを行っている。 訪問先施設からも、質問への適切な対応や専門的な助言について評価があり、信頼関係を基盤とした連携を行っている。	今後も、支援内容やこどもの様子についてのフィードバックを継続し、保護者や訪問先施設との共通理解をより一層深めていく。 また、そこで得られた意見や気づきを支援内容に反映し、家庭や施設と連携した、こども一人ひとりに応じた支援の充実を図っていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援内容と訪問人数・職員配置のバランスに関する課題	訪問支援は概ね適切に行われているものの、支援内容によっては訪問人数や職員配置とのバランスが十分でないと感じられる場面があるとの意見が見られた。 支援の内容や訪問先の状況に応じた、より柔軟な職員配置の検討が課題である。	支援内容や訪問先の状況に応じて、訪問人数や職種の組み合わせをより適切に判断できるよう、事前の情報共有や打ち合わせを丁寧に行っていく。 その上で、支援の目的や内容に即した職員配置が行えるよう、体制や調整方法について引き続き検討し、支援の質の向上につなげていく。
2	研修の機会や学びの共有に関する課題	施設で計画的な研修計画は立てられているものの、保育所等訪問支援に特化した研修や事例検討の機会については、さらなる充実が求められている。 訪問支援の特性や専門性を踏まえた学びを深め、支援の質の向上につなげていくことが課題である。	策定されている研修計画を基盤としつつ、保育所等訪問支援の特性や役割に即した研修内容について整理を行っていく。 あわせて、訪問支援に関する知識や事例を共有する機会を設け、職員間で学びを蓄積・共有することで、保育所等訪問支援の専門性の向上を図っていく。
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 川崎市北部地域療育センター

公表日 2026年3月30日

利用児童数

2名

回収数

2枚

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	2	0	0	0		・支援に必要な準備を適切に行いながら進めていきます。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	2	0	0	0		
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	2	0	0	0		・丁寧な説明に留意していきます。
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	2	0	0	0		
適切な 支援 の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	2	0	0	0		
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2	0	0	0		・専門性を確保し、具体的な効果に結びつく支援を進めていきます。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2	0	0	0		
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	2	0	0	0		・訪問先施設との連携に十分留意して進めていきます。
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2	0	0	0		
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2	0	0	0		
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	2	0	0	0		・訪問先施設との連携に十分留意して進めていきます。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2	0	0	0		
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2	0	0	0		・丁寧な説明に留意していきます。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	2	0	0	0		
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	2	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2	0	0	0		・保護者の気持ちを理解しながら支援を進めていきます。
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2	0	0	0		・保護者から安心して相談できるように留意することにも、寄せられた相談に対しては迅速に対応します。
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2	0	0	0		
20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	2	0	0	0		・訪問先施設との連携に十分留意して効果的な支援を進めていきます。	

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	2	0	0	0	
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	2	0	0	0	
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	1	0	0	1	・年間4回の通信発行を引き続き行っています。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2	0	0	0	
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	1	0	0	1	・支援開始前の事業説明の際に、訪問先の緊急時の対応について、確認を行っております。 ・引き続き、訪問先施設へのサービス提供ならびに必要な確認を丁寧に進めています。
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2	0	0	0	
	27	子どもは訪問支援を嫌がりませんか。	2	0	0	0	・子どもの意欲と自己達成感を大切にしたい支援を進めていきます。
	28	事業所の支援に満足していますか。	2	0	0	0	・保護者の理解と協力を得ながら支援を進めていきます。

公表	訪問先施設からの事業所評価の集計結果
----	--------------------

事業所名	公表日	2026年	3月	30日
川崎市北部地域療育センター	利用児童数	2名	回収数	2枚

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・参考になる遊具や補助具を持参していただき、とても分かりやすかった。 ・姿勢のあり方や「0スタート」の大切さを全職員で確認した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高い専門性を確保し、効果的な支援を進めています。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・はさみの動かし方等の道具の使い方、声のかけ方等具体的に教えていただいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的で効果的な支援を進めています。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の悩みに合わせて助言していただいた。 	
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に困っていることをみてもらい、具体的なアドバイスを受けられて改善することができました。 ・家庭、所属先、センターで連携し、共有できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもの特性や訪問先の環境等に留意しながら支援を進めています。
5	事業所からの支援に満足していますか。	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回来て頂いた為、本児に合わせた短期目標を設定することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的な支援を進めています。
其他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<ul style="list-style-type: none"> ・訪問支援中に区役所とも連携をはかることができ、学校・療育・行政が連携することができ、安心して自立を見守る体制になり、感謝している。これからも連携を図りながら、こどもの自立の目標を保護者とも共有し、本児に必要な支援を続けたい。 ・悩んでいた事、困っていた事を実際に見てもらい、直接助言いただけたため良かった。意識することで遊ぶ様子等で、成長を感じる場面があり、施設でも学びになったと感じる。 					<ul style="list-style-type: none"> ・現場での具体的な様子を丁寧に共有いただきながら、直接的な助言を通して日常の関わりに活かしていく対応を継続していきます。助言内容を意識した関わりを積み重ねることで、こどもの遊びや行動の変化を捉え、成長につなげていくとともに、施設全体としての支援力の向上を図っていきます。 ・支援を進める中で必要が生じた場合には、関係機関とも情報共有や連携を行い、本児にとってより適切な支援につながるよう努めていきます。 	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		川崎市北部地域療育センター		公表日		2026年3月30日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環 境 ・ 運 営 ・ 体 制	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	4	0	・訪問先施設の環境や状況を踏まえ、施設にない教材や物品を持参するなど、支援内容に応じた教具教材の工夫を行っている。		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	2		・支援内容と訪問人数のバランスの調整が十分でない場合がある。 ・現状では対応できているものの、今後、利用者数や訪問頻度の増加に伴い、職員配置や業務負担の調整が課題となる可能性がある。	
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	0	・訪問ごとに関係職員で振り返りを行い、支援内容や訪問先施設への助言について共有し、次の支援に活かしている。		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	・保護者評価を通じて意向や要望を把握し、必要に応じて支援内容や対応方法の見直しにつなげている。	・評価結果を踏まえて必要な業務改善等に反映させていきます。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	・訪問ごとに必要な職員が関わり、所内業務に支障が出ないよう配慮しながら、職員の意見や気づきを業務改善に活かしている。	・職員の意見等を踏まえて必要な業務改善等に反映させていきます。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	0	・第三者評価等を通じて事業運営を点検し、支援の質の向上につなげている。		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2	2	・研修費用を捻出する等、自己研鑽の機会がある。	・自己研鑽を後押しする体制は整えているが、保育所等訪問支援に特化した研修や事例検討の機会については、今後の充実が課題である。	
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	4	0	・関係者で情報共有を行い、子どもの状況やニーズを踏まえたアセスメントに基づき支援計画を作成している。		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	・児童発達支援管理責任者を中心に、支援に関わる職員が共通理解のもとで支援計画を検討している。		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	4	0	・訪問先のクラス担任と十分に話し合いの機会を持ち、支援内容を共有することができている。	・訪問先施設の意向を踏まえた支援計画の作成に努めているものの、施設の業務状況により、クラス担任が話し合いに参加することが難しい場合があり、十分な協議の機会を設定することが課題としてある。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	・支援計画を職員間で共有し、計画に沿った支援を行っている。		
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察など含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	・所内の共通様式を活用し行動観察や聞き取り等でアセスメントを行っている。	・フォーマルなアセスメントの活用場面や方法を整理する必要がある。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	・児童発達支援ガイドラインを踏まえ、本人支援を中心に、家族支援や移行支援等も意識しながら支援計画を作成している。 ・必要に応じて関係機関との情報共有や連携も行っている。		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	・支援計画を職員間で共有し、計画に沿った支援を行っている。		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	・初回の訪問前には支援の方向性を話す機会を設けている。 ・訪問ごとに関係職員で振り返りを行い、支援内容や訪問先施設への助言について共有し、次の支援に活かしている。		
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0		・関係者全員が参加しやすい体制づくりについて今後も検討していく必要がある。		

	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	3	1	・所属園での充実した生活を支援することが重要であり、訪問先の理念や支援手法を尊重しながら支援を行っている。	
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	4	0	・日々の支援について決められた様式で記録を行い、こどもの様子や支援内容を整理している。 ・記録をもとに職員間で情報共有を行い、支援の振り返りや次回の支援内容の検討につなげている。	・効率的な記録の作成や役に立つ記録の作成などについてさらに検討が必要と考えられる。
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	・定期的なモニタリングや保護者との面談を通じて、支援計画の見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	1		・相談支援事業所の利用がない為、サービス担当者会議の実施はなかった。また、その他の障害福祉サービスの利用もない為、会議開催はなかった。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	・必要に応じて、保育所・幼稚園・学校等と連携し、こどもの適応状況や支援内容、移行支援等について情報共有を行っている。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0	・事業を行う中で、訪問先施設職員へ発達や特性に応じた関わりについて確認している。 ・当該事業については、サービス提供をする中で行っている。保護者の了解のもと、支援計画を訪問先施設と共有を図っている。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3	1	・学識経験者による研修会の実施や所内専門職からの助言、外部研修への参加を通じて、支援の質向上に努めている。	・研修への参加機会は設けられているものの、参加の判断や内容については職員個々に委ねられている部分が多く、事業所全体として計画的に学びを共有する仕組みが十分とは言えないという課題がある。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3	1	・主に地域支援部ソーシャルワーカーが関係会議に積極的に参加し、地域の動向や情報把握に努めている。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	・保護者の悩みや課題を丁寧に聞き取り、必要な助言を行っている。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1	・家族支援については、必要なご家庭に個別で案内している。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	・契約時に運営規程や支援内容等について説明を行っている。	・運営規定等の見直しを適切に行うとともに、丁寧な説明を進めていきます。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	4	0	・支援開始前に必ず、訪問先施設へしおりを活用し、説明を行っている。	・丁寧かつ分かりやすい説明を進めていきます。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	・面談を通じて、保護者やこどもの意向を確認し、支援計画に反映している。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	4	0	・支援計画を提示しながら説明を行い、保護者の同意を得ている。	・丁寧かつ分かりやすい説明を行い同意を得る取り組みを継続してまいります。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4	0	・訪問後に必ずフィードバックの機会を作り、その際に、聞き取りを行い、必要に応じて助言している。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	2	・保育所等訪問支援事業の特性上、保護者同士やきょうだい同士の交流の場は設けていない。	・きょうだい児支援に関する研修会やイベントの情報提供を進めてまいります。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	・相談内容に応じて主担当を決めながら関係職員で共有し、迅速かつ適切な対応に努めている。	

	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3	1	・年間4回の通信発行を行っている。	・他の事業との兼ね合いもあり、広く周知を行っていない状況であり、利用対象者については事業所において判断している。そのため、事業内容や対象者の位置づけについて、より分かりやすく整理し、必要に応じた情報提供の在り方について検討していく必要がある。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	・研修会の実施や適宜、職員に啓発する等、力を入れていると思う。	・個人情報の保護対策を組織的に進めています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	・絵カードや書面、分かりやすい言葉を用い、子どもや保護者に応じた情報伝達を行っている。	
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	4	0	・未実施ではあるが、オンラインでの会議も検討をした。 ・相談内容に対して、事前にデモ品を作ったりする等、準備もしっかりしている。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	4	0	・訪問後にカンファレンスを実施し、次の支援内容についても検討している。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	4	0	・訪問後に保護者へフィードバックを行って支援について共有している。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	・研修やセルフチェックを通じて、個人情報の適切な取扱いを徹底している。	・個人情報を施設に提供する場合は保護者の同意を必須としています。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	4	0	・訪問後にカンファレンスを実施し、次の支援内容についても検討している。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	・各種マニュアルを整備し、職員や保護者に周知するとともに定期的な訓練や研修を行っている。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	・作成した安全計画に基づき、研修や訓練を通じて安全管理に取り組んでいる。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	・担当委員会等を通じてヒヤリハット事例を共有し、再発防止の検討を行っている。	担当委員会等を通じてヒヤリハット事例の共有や再発防止の検討を行っている一方で、共有した内容がどの程度の職員に確認・浸透しているか把握しにくいという課題が挙げられた。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	・定期的な研修やセルフチェックを行い、虐待防止への意識向上に努めている。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	0	・身体拘束適正化委員会を設置し、組織的な決定を行うとともに保護者に説明を行い、児童発達支援計画へ記載をして支援を行っている。	・子どもの権利を侵害しないようしっかりと協議し組織的に決定していきます。